

第3回

地域包括支援センター展勝地

圏域内介護支援専門員研修会報告

平成30年8月10日10:00～

特別養護老人ホーム八天の里 会議室

参加事業所

- ① やちだもの家北上ケアプランセンター
- ② 介護相談センターふたご
- ③ エスカール在宅介護支援センター
- ④ 居宅介護支援事業所浮牛の里
- ⑤ 八天の里在宅介護支援センター
- ⑥ グループホームやちだもの家北上
- ⑦ グループホームくちない
- ⑧ グループホームさらき
- ⑨ 看護小規模多機能居宅介護きずなの森
- ⑩ 地域密着型特別養護老人ホーム浮牛の里
- ⑪ 特別養護老人ホーム八天の里

本日のメニュー

「独居高齢者を地域で支えるには」

①情報提供

【1】～特定非営利活動法人くちない～ 事務局長 今野 様

- ▶ 1、自家用自動車有償旅客運送（口内有償ボランティア輸送システム）：現在450人利用。
- ▶ 2、買い物弱者への支援：コミュニティーストアの運営：店っこくちない開設
- ▶ 3、高齢者の生活支援（草刈り、草取り、除雪、庭木の剪定、建具修理、家周り清掃など頼まれたことは何でも引き受ける）：有償1,200円/1時間※一般の方からの依頼も多く、30年度より一般の方は1,500円
- ▶ ●会員、町民から生活支援者を募集し、高齢者世帯や病気などで作業が困難な世帯の生活課題解決につなげる。
- ▶ ●30年度よりゴミ出し支援サービス100円/1回開始予定→市とすり合わせしている。
- ▶ ★活動を通して：無償は限界がある。有償運送も市の補助金は80万円のみ。利用する側も有償の方が割り切って依頼しやすい。

①情報提供

【2】～北のしっぽ（動物支援）～ 代表 蔵田 様

- ▶ 1、スタッフは代表含めて5名。代表以外は、仕事を持ちながらのボランティア活動。ケアマネージャー等の介護、福祉職の方の前でお話するのは初めて。
- ▶ 2、捨て猫が年々多くなってきている。→動物のシェルターはないので、引き取りはしないようにしているが、行き場のない猫などは引き取ることがある。（スタッフの自宅で）
- ▶ 3、餌をあげている人が、最後まで責任をもたなければならない。
- ▶ 4、高齢者の方が抱えている動物問題が多い。20～30匹はあっという間に増えてしまう。
- ▶ 5、この1年間で100匹譲渡→譲渡するには健康状態を良くした状態でなければならない。ワクチンをしたり、大きな猫は去勢手術をしてからとなる。
- ▶ ●譲渡会：9月16日憩いの森にて開催
9月23日江釣子ショッピングセンターパルにて中部保健所と合同で譲渡会

②民生児童委員より～「役割と地域課題」

【1】二子・更木地区会長 菅 孝志 様

- ▶ 1、二子・更木地区民生児童委員数。14名 二子、更木それぞれに主任児童委員配置。
- ▶ 2、地区の高齢者数（75歳以上）二子610人、更木290人 4人弱高齢者
- ▶ 3、地区高齢者との接点→ふれデイへの参加状況、福祉協力員との話し合い。
- ▶ 4、包括支援センターと民児協との関り→年1回（5月情報交換会：民児協5月定例会にて）

【2】北上東地区副会長 高橋千枝 様

- ▶ 1、民生委員として高齢者問題が多くなっている。赤ちゃん訪問は年に2回くらいしかない。
- ▶ 2、お茶のみ、ふれデイに来ない人をどうしよう→公民館長に掛け合い、公民館を解放していただき、お茶飲み会を8年続けて開催している。
- ▶ ●活動場所：生協団地にて協力者4～5名、初めは50円の利用率→利用者より安いとの声があり100円に。
- ▶ ●活動内容：出前講座を受けて、いきいき百歳体操週2回行い、月1回お元気会。
料金をかけないように出前講座を利用。
- ▶ 年2回は子供たちとコラボする。（世代間交流）

グループワーク

「地域の支援者と話そう」

※司会（ファシリテーション）は、主任介護支援専門員の方、不在のところは管理者の方

①グループ「高齢世帯の動物問題について」

- ▶ ・猫屋敷増加しているなので、去勢手術を広めてほしい→手に負えなくなると山・川に捨ててしまう人もいる。：去勢手術も北のしっぽを通してもらうと安い手術料でできる動物病院ある。
- ▶ ・人のかかわり方、責めるような言い方ではなく、「飼い主の心に寄り添う」
- ▶ ・ボランティアなので、手術代、など必要経費は協力してほしい。
- ▶ ・車のない高齢者は動物を病院に連れていくこともできない。送迎の支援は？
- ▶ ・動物を飼う場合は、覚悟と強い気持ちが必要。

グループワーク

②グループ

- ▶ ・認定を受けていない元気な高齢者も支援が必要。（介護保険利用者はヘルパーなどの支援がある）
- ▶ ・歩けるけど認知症→介護タクシーまでは必要ないが、通院に支援が必要なとき
N P O
※市に申請すると、バスに乗れるチェックでチェックリストから外れる。
バスに乗れても、一人での通院や買い物が難しい方もいる。
- ▶ ・食材も生協やJ Aの配達もあるが、目で見て買い物する楽しむことが大切。
- ▶ ・店っこくちないに顔を出したら、スタンプを押してもらおう。元気である証なる。

グループワーク

③グループ

- ▶ ・高齡化、地区単位で考える問題。
- ▶ ・街場にはない良さがあり、顔の見える関係ができています。
- ▶ ・高齡になると地域に甘えてもらいたいが、拒否する方もいる→できなくなってきた、歳を重ね不安感を持ち、気持ちを閉ざしてしまう。

※誰でも抱える辛さを北上市全体で具体的なサポート体制をどうするのか考えて欲しい。

- ▶ ・若い世代と高齡者との関係→親の意識が関係ある。
- ▶ ・現在の問題だけで考えるのではなく、支える人も高齡者になるので、次世代につないでいくことが大切。

グループワーク

④グループ

- ▶ ・高齢男性もお元気会に参加し、ほかの男性に声をかけてマーじゃん大会を行っている。
- ▶ ・介護認定を受けている方は引き込みやすいが、受けていない人をどうやって引き込むか。（例えば...ひきこもり、あまり顔を見ることもなく話をしに行っても反応もない。
- ▶ ・ケアマネのかかわりとして、介護保険を利用するときだけ関わっただけの方がいる。本人たちが困っていないと、それ以上探れず関わることができない。
- ▶ ・問題に思うこと、本人たちは困っていないが将来的に心配がある家庭。どうやってサポートしていくか。
- ▶ ・ひきこもりの方の支援は、年代も様々（40代、50代の兄弟など）年齢によって地域に入り込みにくさもある。
- ▶ ・誰とでも挨拶できる地域。子供会のつながりも大切。

ランチミーティング

～市内配食サービスを試食しながら～

●配食業者

- ▶ 宅配クック
- ▶ まごころ弁当
- ▶ セブンミール
- ▶ 北上市配食サービス（八天の里デイサービスセンター）

※宅配クックさんより、ムース食、やわらか食、消化にやさしい食の無料試食提供

- ▶ 研修中とは違い、地域の方や他事業所のケアマネ、包括職員も食事を食べながらだと、ざっくばらんにいろいろな話ができている。

研修中の様子



第3回 包括展勝地図
「地域の支援者と話そう」
1. グループ
高齢者の能力物のことについて。
二屋敷 → 去勢手術 命を守る
増えている
責める言い方ではなく、刃が増えぬよう飼育手の心に寄り添え
屋内で猫を飼育。増えぬように。
安い手術費ですむ。重動物病院もある。
重動物病院へケアマネが連れて行き、支援できるか?
2018/8/10

2 グループ
認定を受けていない元気な高齢者の支援
・バスに乗れる人は市の申請から外れては、
・自分の目で選ぶ楽しみが高齢になると減る。
・自宅の庭をきれいにしたい方。タカ。
・店、こくちないで。スタッフ(元気ではある)を押してもらい。

3 グループ
・高齢令化問題になっている。
・養育の見え関係できている(更木二子)
・北上市で具体的にサポート体制どうあるのか考えてほしい。
・拒否する方の支援。
・有償化の
・支える方も高齢令とよめるので、次世代へのつなげ
2018/8/10 12:42

4 グループ
・お元気会へ参加している男性。マージン
・お元気会へ参加していない人へのアプローチ。
・ひきこもりの方への支援(50・40代の兄弟)
本人達は困っていない。年金ももらえないのか... 持家の
独身。
・ひきこもりの年代もさまざま。他の地域でも課題
になるのでは?
・あいさつ(どなたにもできる地域)
2018/8/10 12:43

